



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年11月19日朝刊

大自在

県立美術館にあるロダンの彫刻「考える人」。ダンテの「神曲」を題材にした「地獄の門」の上で、立派な体軀の人間が思索にふけっている。考えることはかくも力強い行為かと思わせる。地獄の門と一緒に見られる場所は国内では他に東京の国立西洋美術館しかない▼インターネットが人間の本質を「考える人」から「クリックする人」に変えていると2003年に学術誌で警句を発したのは情報教育などが専門の米フロリダ国際大准教授のM・O・サルナラヤナン博士だった▼人々がクリック一つで知りたいことにたどり着こうとするネットの時代。時には自分の期待する答えを求めてネット空間を長時間さまよい、クリックを続ける。情報を精査することなく繰り返される「クリック」が「考える」行為に取って代わると懸念した▼博士は当時こう結んだ。「人間の本質は『われクリックする、故にわれあり』になったと言えるかもしれない。私は『われ思う、故にわれあり』を取り戻したい」と▼警句から17年。博士が現在の考えを伺う機会があった。今や人々は「クリックする人」に加えて「スクロールする人」になっているという。確かにSNSに流れる無数の投稿を懸命にスクロールして追いかけることが現代人の生活の一部になりつつある▼小春日和に黄金のプラムナードを散歩がてら、新型コロナウイルスには十分気をつけて県立美術館に「考える人」を見に行くのもいいかもしれない。ネットの必要性は増す一方だが、クリックもスクロールもしない日があるにはあっている。

2020.11.19

①「考える人」の彫刻は誰の作品か。(**ロダン(オーギュスト・ロダン)**)

②M. O. サルナラヤナン博士が学術誌で警句を発した内容を40字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例) インターネットが人間の本質を「考える人」から「クリックする人」に変えている。(38字)

③「クリックする人」や「スクロールする人」の「情報との接し方」はどのようになる傾向があると考えられるか。

(例) 情報を精査することなく、自分の期待する答えを求めてネット空間をさまよう傾向にある。

④ネットの必要性が増す中での「考えることの必要性」について、あなたの考えを書きなさい。

**(例) 主体的な判断をするためには、自分に都合の悪い情報も含めて情報を収集、吟味し、多様な視点から「考える」必要があると思う。
情報を精査し、その正確さを確認するためには、「考える」ことが必要になるだろう。**

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/国語、総合)